

2023年度環境パフォーマンスについて
(評価期間：2023年2月～2024年1月)

環境保全活動による改善の成果を含む環境への負荷を2023年度環境パフォーマンスとしてまとめています。

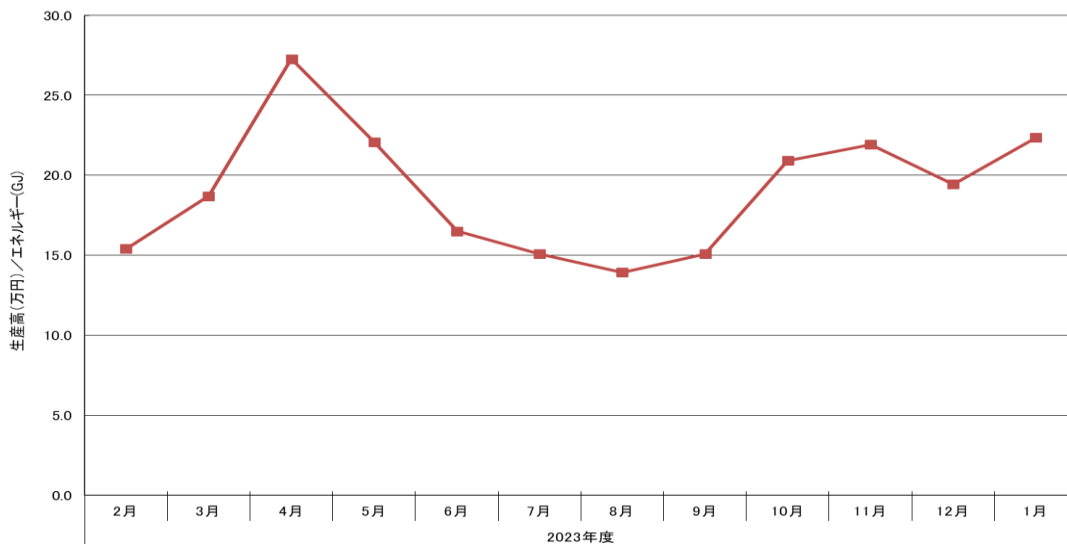
評価の指標として、環境省発行の「事業者の環境パフォーマンス指標（2000年版）」及び「事業者の環境パフォーマンス指標ガイドライン（2002年版）」を参照した。また、換算の基準は「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」別表第1及び第3に拠っています。

1. 環境効率

単位エネルギー消費当たりの生産基準高（万円／ギガジュール）により評価。
「購入電力量」、「LPG使用量」を対象としています。

2021年度	2022年度	2023年度
14.7（万円／GJ）	18.5（万円／GJ）	18.3（万円／GJ）

月ごとの変化は下記の通り。



2. 環境に関する関係法令、その他の要求事項の状況

下記に示す関係法令、その他の要求事項に対応しています。

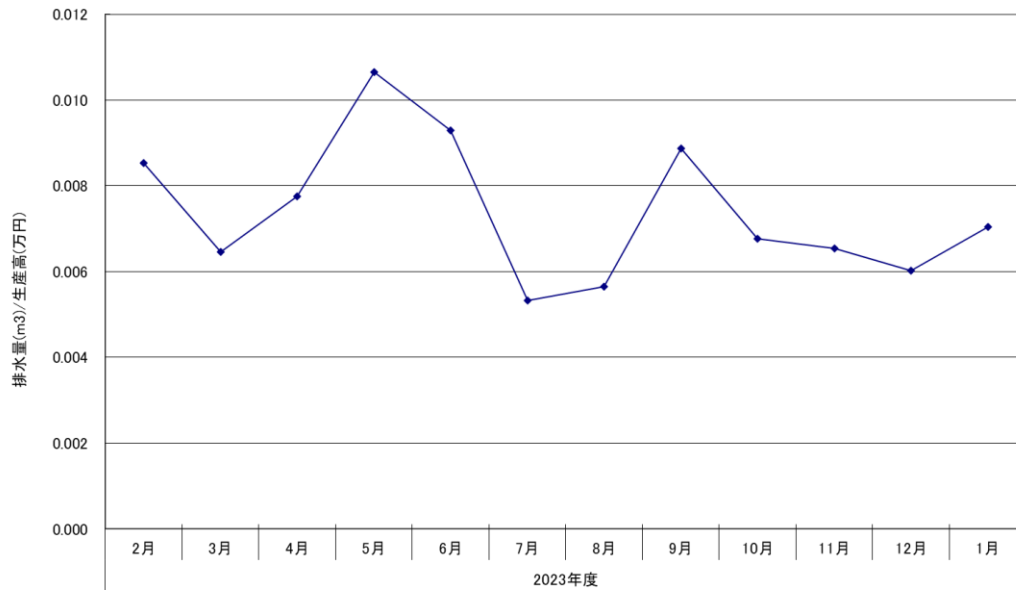
- | | |
|--------------------|-------------------------------|
| ② 大気汚染防止法 | ⑫ 特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法） |
| ③ 水質汚濁防止法 | ⑬ フロン排出抑制法 |
| ④ 下水道法 | ⑭ ボイラー及び圧力容器安全規則 |
| ⑤ 騒音規制法 | ⑮ 消防法 |
| ⑥ 振動規制法 | ⑯ 労働安全衛生法 |
| ⑦ 悪臭防止法 | ⑰ 津山市下水道条例 |
| ⑧ 特定工場における公害防止 | ⑱ 津山市下水道条例 |
| ⑨ 組織の整備に関する法律 | ⑲ 津山市環境保全条例 |
| ⑩ 化学物質管理促進法 | ⑳ ソニー(株)「部品・材料における環境管理物質管理規定」 |
| ⑪ 毒物及び劇物取締法 | ㉑ PRTR法 |
| ⑫ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | |

3. 排水発生量

単位生産高当たりの排水量（ $\text{m}^3/\text{万円}$ ）により評価。

2021年度	2022年度	2023年度
0.009 $\text{m}^3/\text{万円}$	0.008 $\text{m}^3/\text{万円}$	0.007 $\text{m}^3/\text{万円}$

月ごとの変化は下記の通り。



4. 廃棄物リサイクル率

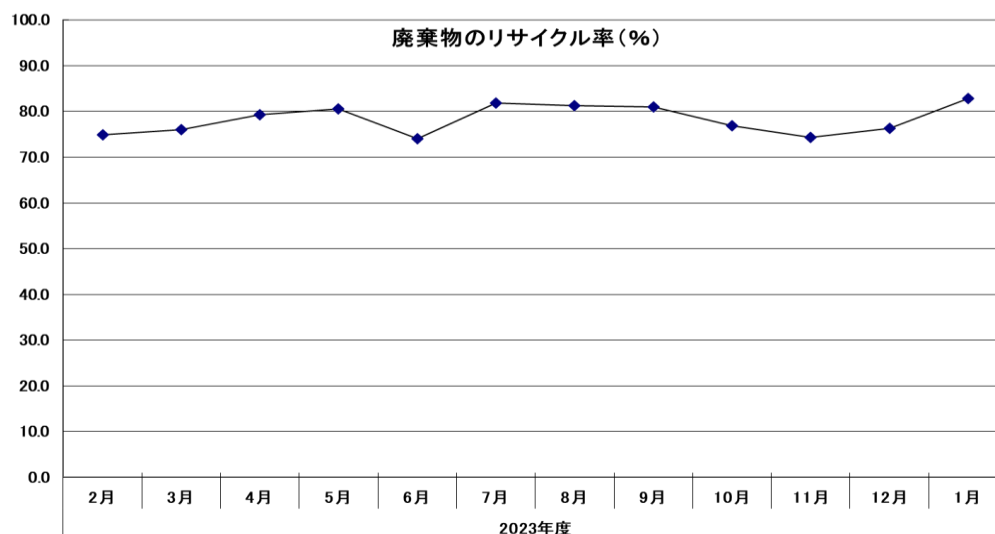
廃棄物排出量（ kg ）の内、リサイクルに使用される排出量により評価。

「木くず」、「金属くず」、「ダンボール・新聞」、「燃えるゴミ」「プラスチック」を対象としています。

2021年度	2022年度	2023年度
88.7%	90.9%	78.3%

2023年度リサイクル率の減少理由として「プラスチック」の廃棄物排出量が前年度と比較し約2倍になっています。（2022年度合計：1,047kg、2023年度合計：2,027kg）

月ごとの変化は下記の通り。



以上